

【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	就労継続支援A型事業所 やまびこ		代表者氏名	施設長 堀川 航太	
事業所所在地	熊本県球磨郡相良村深水2500-51				
連絡先	電話番号	0966-35-0440		FAX番号	0966-35-0790
職員数	4 定員	20 利用者数	12 (うち身体 1 知的 9 精神 2 その他)		
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他			設立年月日	
改善計画期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日 (1年間とすること)				

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) 菌床椎茸栽培だけでなく、キクラゲ栽培に着手したが温度管理・空調管理に失敗し損失がでてしまった。その影響で椎茸栽培が行えなかった。里芋を栽培したが30年度はどれも豊作で価格が下がってしまい収益に結びつかなかった。	(具体的改善策) 30年度後半は農家の高齢化に伴う労働力不足を補うため、施設外などの受託作業を開拓し複数の農家さんから作業委託の話が頂けた。令和元年度も年度当初から年間の農作業受託の計画を立て農業地域の労働力として農家さんと連携して取り組んでいく。また、卸業者さんからも椎茸受注があり需要期には栽培を行い収益につなげたい。
---	---

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
菌床椎茸栽培・・・需要の少ない春夏の栽培を辞め、秋冬の需要の高まる時に生産量をはじめ。卸業者に価格の交渉を行い、出来るだけ高値での取引ができるよう包装なども工夫を行う。生産性を高めるため他の生産者の所に出向き栽培を学んだ職員が担当する。栽培からパック詰めまで、パック班と栽培班の利用者全員で行う。	菌床椎茸栽培・・・需要の少ない春夏の栽培を辞め、秋冬の需要の高まる秋冬に生産量を増やす。卸業者に価格の交渉を行い、出来るだけ高値での取引ができるよう包装なども工夫を行う。生産性を高めるためこれまでのデータと他の生産者の所で栽培を学んだ職員が担当する。また、包装等に関しては女性職員、利用者等の意見を取り入れる。乾燥椎茸等は直接販売を行い販売先を開拓していく。栽培からパック詰めまで、パック班と栽培班の利用者全員で行う
除草作業・清掃作業・・・一般事業所等から委託された清掃作業や除草作業を行う、利用者の体力等を勘案し作業時間を決める。利用者全員が従事し、草刈り機などの機械を扱える職員が担当する。	除草作業・清掃作業・・・一般事業所等から委託された清掃作業や除草作業を行う、利用者の体力等を勘案し作業時間を決める。利用者全員が従事し、草刈り機などの機械を扱える職員が担当する。
収穫作業等・・・農業経営者から委託された収穫作業等の農作業を行う、利用者の体力等を勘案し作業時間を決める。	収穫作業等・・・農業経営者から委託された収穫作業等の農作業を行う、利用者の体力等を勘案し作業時間を決める。委託先の開拓を行う。また、農家さんの協力を頂きながら農産物の生産を行う。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

現在の収入額	計画期間を通じて達成すべき目標収入額
6,059,599円	14,316,000円
(主な費目) 菌床事業、その他事業(施設外就労、販売活動、委託作業等)	(積算根拠) 菌床事業(椎茸)収入5,200,000円、その他事業収入(施設外就労、販売活動等)9,116,000円

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
2,536,403円	4,236,000円
(主な費目) 菌床代、その他事業資材代等	(積算根拠) 菌床事業支出・・・材料費3,300,000、器具計器費1,000、消耗品費300,000、印刷製本費50,000、水道光熱費80,000、燃料費80,000、修繕費30,000、租税公課200,000、雑費60,000 その他事業支出・・・器具計器費10,000、消耗品費15,000、燃料費70,000、修繕費20,000、雑費20,000

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
3,523,196円	10,080,000円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
9,981,968円	10,080,000円
(積算根拠) 賃金9,800,328円、通勤手当149,500円、雇用保険料32,140円	(積算根拠) 賃金10,000,000円、雇用保険料80,000円 最賃見込み額780×平均利用率13×作業時間4×平均作業日数20×

事業所代表者署名欄

(印)

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
 ※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
営業体制の強化及び販路の拡大	仲卸業者だけでなく、直接販売できる販路を開拓し、販売ルートを広げる。	通年	仲卸業者さん相手だけでなく、直接販売できる道の駅、、また大量に仕入れてもらえる食品加工会社等を開拓していく。また、包装等を工夫し付加価値を加えて販路を広げていく。
生産物、作業の検討	農山村地域のニーズに合った生産物や委託作業を検討する。	通年	高齢化した農山間地であるので労働力不足の農家に出向き農作業等の受託を行う。また、施設独自の農産物生産の為、地域の農家さんに協力してもらい栽培のノウハウを学ぶ。
経費削減	菌床の冷暖房費の削減	通年	秋冬に椎茸を栽培し冷暖房を使わない栽培を行う。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和元年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	853,000	853,000	853,000	953,000	919,000	1,033,000	1,435,000	1,465,000	1,858,000	1,858,000	1,283,000	953,000	14,316,000
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	842,000	842,000	852,000	857,000	857,000	852,000	856,000	2,506,000	2,895,000	1,245,000	856,000	856,000	14,316,000
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	11,000	11,000	1,000	96,000	62,000	181,000	579,000	-1,041,000	-1,037,000	613,000	427,000	97,000	0
	支払い賃金総額	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	840,000	10,080,000

(前年度実績)

平成30年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	292,245	433,360	445,315	389,185	456,578	440,798	475,818	350,991	1,104,642	702,723	529,276	438,668	6,059,599
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	1,260,547	1,244,160						19,169				12,527	2,536,403
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-968,302	-810,800	445,315	389,185	456,578	440,798	475,818	331,822	1,104,642	702,723	529,276	426,141	3,523,196
	支払い賃金総額	1,027,046	1,001,603	953,339	984,845	912,796	748,080	678,255	734,496	755,452	694,374	704,342	787,337	9,981,968

【前年度の経営改善計画取組状況】

様式 5

事業所名称	就労継続支援A型事業所 やまびこ		代表者氏名	施設長 堀川 航太	
事業所所在地	熊本県球磨郡相良村深水2500-51				
連絡先	電話番号	0966-35-0440	FAX番号	0966-35-0790	
職員数	4	定員	20	利用者数	12 (うち身体 1 知的 9 精神 2 その他)
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他			設立年月日	平成20年4月
改善計画期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 (1年間とすること)				

＜留意事項(平成31年度提出用)＞

「(改善)計画期間」は、原則として前年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)とする。

ただし、前年度の経営改善計画書において計画期間を年度途中から設定していた場合は、当該開始時期から1年間でも可。その場合でも、実績欄については、前年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の内容を記載すること。

1 前年度の経営改善計画の取組結果について

取組(改善)ができた事項	取組(改善)ができなかった又は不十分だった事項	取組(改善)ができなかった又は不十分だった理由
農福連携事業による地域の農家さん等との作業協力(作業受託と受託先の開拓)。また、受託作業の内容も増え、利用者さんのスキルアップにつながった。	販売先の開拓、生産量の増加。	春夏に行ったキクラゲ栽培が温度・湿度・空調の管理に失敗し大きな損失を出してしまった。それに伴い、菌床椎茸の栽培は行わなかった。

2 計画取組を通じた達成率の推移(※Excelでは入力不要)

計画期間前の達成率(%) 【C1/D1】	計画目標上の達成率(%) 【C2/D2】	達成率実績 【C3/D3】
37%	10%	35%

3 生産活動に係る事業の収入額

前年度の経営改善計画書から転記		今年度の経営改善計画書(「現在」欄)から転記
計画期間前の収入額	計画期間を通じて達成すべき収入額(目標)	計画期間の収入額(実績)
11,888,864 円	25,700,000 円	6,059,599 円

4 生産活動に伴う必要経費

前年度の経営改善計画書から転記		今年度の経営改善計画書(「現在」欄)から転記
計画期間前の経費	計画期間を通じて見込まれる経費(目標)	計画期間の経費(実績)
7,391,065 円	12,681,000 円	2,356,403 円

5 生産活動に係る事業の収入ー生産活動に伴う必要経費

前年度の経営改善計画書から転記		今年度の経営改善計画書(「現在」欄)から転記
計画期間前の「収入ー経費」 【C1】	計画期間後の「収入ー経費」(目標) 【C2】	計画期間後の「収入ー経費」(実績) 【C3】
4,497,799 円	13,019,000 円	3,523,196 円

6 利用者の総賃金額

前年度の経営改善計画書から転記		今年度の経営改善計画書(「現在」欄)から転記
計画期間前の支払い総賃金額 【D1】	計画期間後の支払い総賃金額(目標) 【D2】	計画期間後の支払い総賃金額(実績) 【D3】
12,294,823 円	128,400,000 円	9,981,968 円